

ちよと 青年部通信

コロナウイルスとの闘いは相も変わらず感染者数が減ったり増えたりを繰り返

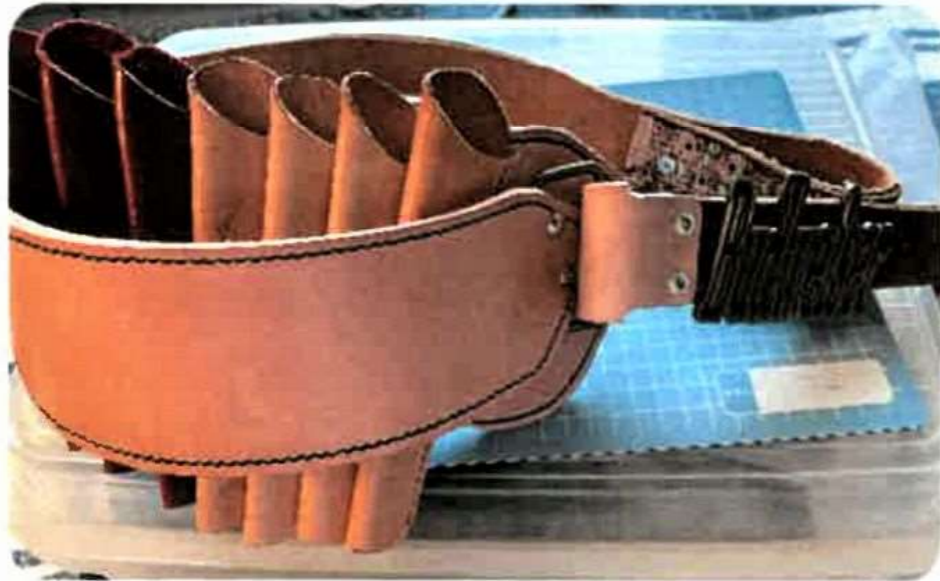
していますが、重症者数は減り徐々に明かりが見えてきたように感じます。

まん延防止等重点措置も解除されており「第74回広島県理容競技大会」が開催されることになり、今回も大会実行委員として運営の一端を担ってサポートさせて頂きました。青年部は第2会場の管理を担当しましたが店舗が会場なので余り混乱する事などありませんでした。コロナ前の大会では多数の観覧者がおり、会場整理等、何かと大変なことがありましたが、あの時の緊張感が懐かしく感じます。次大会こそは、いつも通りの競技大会に戻ってほしいものです。

第74回全国理容競技大会は10月に秋田県で3年ぶりに開催予定となっています。今後新型コロナウイルス感染状況によっては開催の可否がどうなるか判らない今、出場選手にとってモチベーションの維持が大変かと思えます。どうか前に向かって頑張ってください。(写真は第4部門ブローです)



革細工第2回目です。今回の作業は現在制作中のシザーケースです。イメージはショットガンのショットシェルを入れる部分…



だったのですが、素材不足と発想力不足で何やら違う仕上がりに…ですが前回作った新聞記事用の急持えのシザーケースではなく、構想から数年がかりで紆余曲折あってここまでたどり着いた大作

(自画自賛)です。しかしこれもイメージした完成形とは言い難く、まだ改善の余地があるわけで、色々実験しながら完成へと到達したいと思っています。とは言え実践投入しなければ問題も何も浮かび上がってこないの、とりあえずの完成を目指します。

現状ハサミを入れる部分は土台に直接縫い付けて、そのままでは心許ないので、支えになるガード部分をビスで止め、そこにDカンという金具を咬ませてベルト通しに。

腰に巻く手法は、バックル買いました。メルカリで。ベルトは昔使っていた朽ちかけたベルトを切断し、床革をボンドで貼り付けて強度を上げて使います。本来ならこの手法で作る予定では無かったので、Dカンとベルトのサイズ合いません。なので革でジョイント部を作ります。急造思い付き感が否めない作風に仕上がりました(汗) これで一つ解決したので、次はコーム入れ。今まで使ってたものは厚みがあって好みじゃないので…と

思っ悩むこと数週間、ついにアイデアが降りて来たので形にしていきます。しかし今まで以上に大きくなってスマートさに欠ける気が…ま、まあ兎に角使い始める事が第一目標なので、勢い任せでどんどん作っちゃいます。清掃などの必要性を考慮した結果、ホームセンターなどで売っているアルバム用のビス(¥220)で止める手法にします。後は、クリップホルダーは？ハケホルダーは？まだまだ道のりは長いようですね～。ちなみに作業はドフリーな休日の午後のみなので、二ヶ月経ってもさほど進んでいません。

